

2024 環境経営レポート



リサイクルで地球を護る



 株式会社 田中商会

レポート対象期間: 2024年7月1日～2025年6月30日

発行日 : 2025年8月1日

# ◆ 目 次

◆ 組織の概要	1
◆ 沿革	2
◆ 車輜・主要機械・主要設備一覧	3
◆ 本社・玉島工場事業許可一覧	4
◆ 処理工程図	5
◆ エコアクション21実施体制	6
◆ 対象範囲	7
◆ 環境経営理念・環境経営方針	8
◆ 環境経営目標	9
◆ 環境経営計画	10
◆ 月間目標と実績の比較(グラフ)	11
◆ 環境経営目標及び環境経営計画の達成状況	12
◆ 各部門長による評価及び次年度の取組	13
◆ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無	14
◆ 環境活動及びその他の活動への取り組み	15
◆ 代表者による全体の評価及び見直しと指示	16

## ◆ 組織の概要

・事業所名	株式会社 田中商会
・代表取締役	田中 剛
・所在地	本社工場 〒710-0803 岡山県倉敷市中島1395 水島工場 〒712-8073 岡山県倉敷市水島西通1-1950-4 玉島工場 〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8264-11
・URL	<a href="https://www.tanaka-rc.co.jp">https://www.tanaka-rc.co.jp</a>
・法人設立年月日	1952年5月7日
・資本金	1,000万円
・従業員数	95名
・床面積	35,470㎡
・2024年度処理量 (受託産業廃棄物)	収集運搬 643.390t 中間処理 1,523.989t
・2024年度売上高	4,197百万円
・環境管理責任者	田中 期
・環境事務局	大垣 史浩 小畑 勇



本社工場

### 事業内容

#### 製鋼原料

引き取り現場に応じ、ダンプ・ヒアブ・パッカー・ウイングなど様々な車両にて鉄スクラップ・紙類・非鉄金属を回収し、自社工場内で大型ギロチンシャー・プレス・シュレッダー・ペーラーなど様々な処理設備を駆使しそれぞれ最適なサイズや形状に加工し付加価値を付け、鉄スクラップは製鋼原料として、紙類は製紙原料として、非鉄金属は種類ごとの原料として、それぞれのメーカーに納めております。

#### 製紙原料

#### 非鉄金属

#### 産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬

企業の事業活動の中で排出される金属、繊維、ガラスなどの「産業廃棄物」や事業所から出される事業系「一般廃棄物」の収集運搬を行っております。

#### 産業廃棄物処分業(中間処理)

企業の事業活動に伴って生じた産業廃棄物は分別や粉砕により減量化し、その他選別・破砕等の中間処理を行っております。

#### 一般建設業 とび土工・解体工事業

工場・プラント設備や鉄骨建屋などの解体を行っております。解体で発生する金属屑は全て自社でリサイクルします。

#### 計量事業証明書

法定計量単位により物証の状態の量を測り、その結果に関し、公に又は業務上他人に、一定の事実が真実である旨を証明する事業です。

# ◆ 沿革

## 年表

- 1901年 田中仁三郎が田中屑物店として創業
- 1940年 戦時企業合同
- 1945年 田中兄弟商店として復帰
- 1952年 株式会社田中商会として法人化  
田中勝が代表取締役に就任
- 1969年 倉敷市中島 現在地に移転
- 1974年 500トンギロチン導入
- 1976年 本社東南土地購入
- 1977年 倉敷市水島西通りで伸鉄材加工に進出
- 1980年 本社東南土地に製紙原料工場新築
- 1984年 倉敷市水島で薄板剪断加工に進出
- 1987年 800トンギロチンに更新
- 1988年 古紙ベーリングマシン導入
- 1990年 代表取締役に田中穰が就任
- 1991年 本社南土地購入
- 1993年 本社南土地に工作所新築
- 1997年 機密書類用シュレッダー導入
- 1997年 製鋼原料工場更新
- 1998年 産業廃棄物収集運搬業許可
- 1998年 古紙ベーリングマシン2号機導入(2基体制)
- 2002年 一般廃棄物収集運搬業許可
- 2004年 産業廃棄物処分業許可
- 2004年 自動車リサイクル法解体・破碎許可
- 2005年 スクラッププレス機更新
- 2009年 プライバシーマーク認証
- 2010年 エコアクション21 認証
- 2012年 ミニスリッター導入(工作所)
- 2012年 1000トンギロチン更新
- 2014年 田中篤が代表取締役会長に就任  
室山敏彦が取締役社長に就任
- 2015年 機密書類用シュレッダー更新
- 2016年 とび・土工工事業
- 2018年 解体工事業
- 2018年 古紙ベーリングマシン更新
- 2018年 室山敏彦が代表取締役に就任
- 2020年 玉島工場竣工  
金属破碎加工に進出
- 2023年 田中剛が代表取締役に就任
- 2024年 無人型資源回収拠点を開設  
リサイクルステーション『くらシエコ』  
倉敷中島店/玉島上成店

⋮



### 【昭和40年 本社】

明治34年2月田中屑物店として創業し、昭和16年太平洋戦争中である日本において企業合同が行われ我社も一度はその名前を失うが、終戦の年である昭和20年に田中兄弟商会として復帰。その後昭和27年5月に株式会社田中商会として新たなスタートを切る。

### 【水島作業所】

昭和52年設立の水島作業所ではガス切断によるスクラップ加工、平成5年設立の工作所ではバンド材・切板等の加工を開始。



### 【機密書類用シュレッダー導入】



その後も大型機械の導入や更新、プライバシーマーク・エコアクション21の認証も受け、受注の幅が拡大。

『創業110年の歩みとともにこれからも使命を終えた屑を再び生まれ変わらせるこの事業に誇りを持って歩み続け邁進する所存です』



2011年 代表取締役 田中 穰

### 【玉島工場 循環推進部】



令和2年11月ハーバーアイランドに玉島工場・循環推進部を設立し、金属スクラップの破碎加工に進出。これにより製鋼原料部・製紙原料部・工作所・水島作業所・循環推進部の5部署での現体制となる。

【無人資源回収拠点『くらシエコ』】  
令和6年10月にポイっと簡単リサイクルステーション『くらシエコ』の営業を開始。無人型資源回収なので誰でも気軽に少量からでもリサイクルに参加できる地域密着型回収事業に参入。



変化するリサイクルの世界に挑戦し続ける

## ◆ 車両一覧

車種	台数
大型ヒアブ	4台
8t ヒアブ	1台
5.5t ヒアブ	1台
10t マルチ	2台
8t マルチ	1台
4t マルチ(内1台は一般廃棄物車両)	2台
4t ウィング	2台
普通車	2台

車種	台数
8t パッカー	1台
4t パッカー	4台
8t 平ボディ	1台
4t 平ボディ	1台
2t 平ボディ	1台
2t コンテナ車	1台
25t ラフター	1台
軽四・軽トラック	3台



## ◆ 主要機械一覧

車種	仕様	台数
油圧ショベル	マグネット仕様	6台
	ラバンテ仕様	2台
	ニブラ	1台
	フォーク・グラブ	5台
スーパー		2台

車種	仕様	台数
フォークリフト	2.5t・3t・3.5t・5t・8t	8台
	クランプ	3台
	tヒンジ	2台
ショベルローダー	フォーク	2台
	バケット	3台



## ◆ 主要設備一覧

設備名	設置数
ギロチンシャー	1基
三方締めプレス	1基
ジャンボシャーリング	1基
天井クレーン	2基
ナゲット	1基
トラックスケール	4基
紐取選別機	1基
破碎機(400馬力)	1基
各種選別機	3基

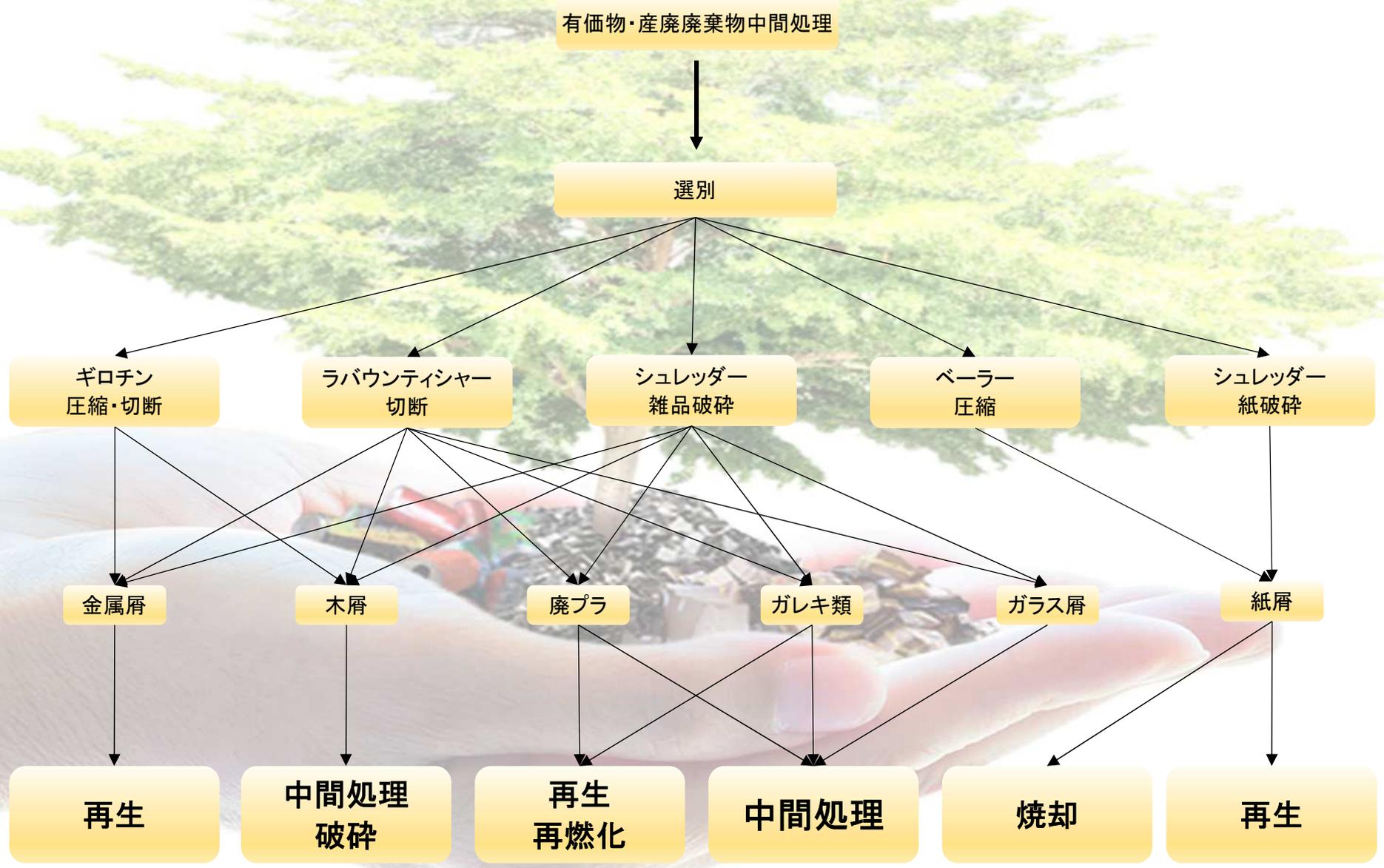
設備名	設置数
ベアリングマシン	3基
シュレッダー	1基
ミニスリッター	1基
2連式オシレート巻機	1基
フルオートシャー他	3基
ホイス(1t・2.8t・4.8t)	9基
高磁力選別機	1基
光学式選別機	1基
振動振るい機	1基



◆ 本社・玉島工場事業許可状況一覧

事業許可内容	許可番号	許可年月日 (更新年月日)	許可有効期限
岡山県産業廃棄物収集運搬業(積替え許可は無し) 種類: 汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙屑、木屑、動植物性残渣 金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑、がれき類	03303057853	R6.2.16	R10.12.23
倉敷市産業廃棄物処分量 事業の範囲(中間処理) 圧縮: 廃プラスチック類、金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑 (三方締めプレス 100t/日(8時間)) 切断: 廃プラスチック類、金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑、がれき類 (ラバウンティシャー 80t/日(8時間)) 圧縮・切断: 廃プラスチック類、金属屑、ガラス、コンクリート、陶磁器屑 (キプロチンシャー 200t/日(8時間)) 被覆電線剥離: 廃プラスチック類、金属屑 (ナケット 1.6t/日(8時間)) 圧縮梱包: 廃プラスチック類、紙屑 (ペーリングマシーン 160t/日(8時間)) 破碎: 紙屑(9.6t/日(8時間)) 破碎・選別: 廃プラスチック類36.8t/日(8時間)、木屑203.2t/日(8時間) 金属屑164t/日(8時間) ガラス・コンクリート・(がれき類除く)陶磁器屑368.8t/日(8時間) がれき類390.4t/日(8時間)	10020057853	R6.11.25	R11.9.21
岡山県特別管理産業廃棄物収集運搬業 種類: 廃酸、廃アルカリ	03353057853	R3.8.16	R8.7.24
使用済自動車引取業(倉敷市)	21001000054	R4.6.11	R9.6.10
使用済自動車フロン類回収業(倉敷市)	21002000054	R4.6.11	R9.6.10
使用済自動車破碎業(倉敷市)	21004000054	R6.12.13	R11.11.30
使用済自動車解体業(倉敷市)	21003000054	R6.12.13	R11.11.30
倉敷市一般廃棄物収集運搬業(積替保管施設有) 最大保管高さ2m 最大保管量24m <sup>3</sup>	11	R6.4.1	R8.3.31
第一種フロン類充填回収業者	331130037	R4.4.25	R9.4.24
一般建設業(とび・土工工事業/解体工事業)	般一2 24916	R3.2.10	R8.3.29
古物商許可	14516	H9.5.23	
岡山県再生事業者登録	14	H5.11.26	

◆ 処理工程図

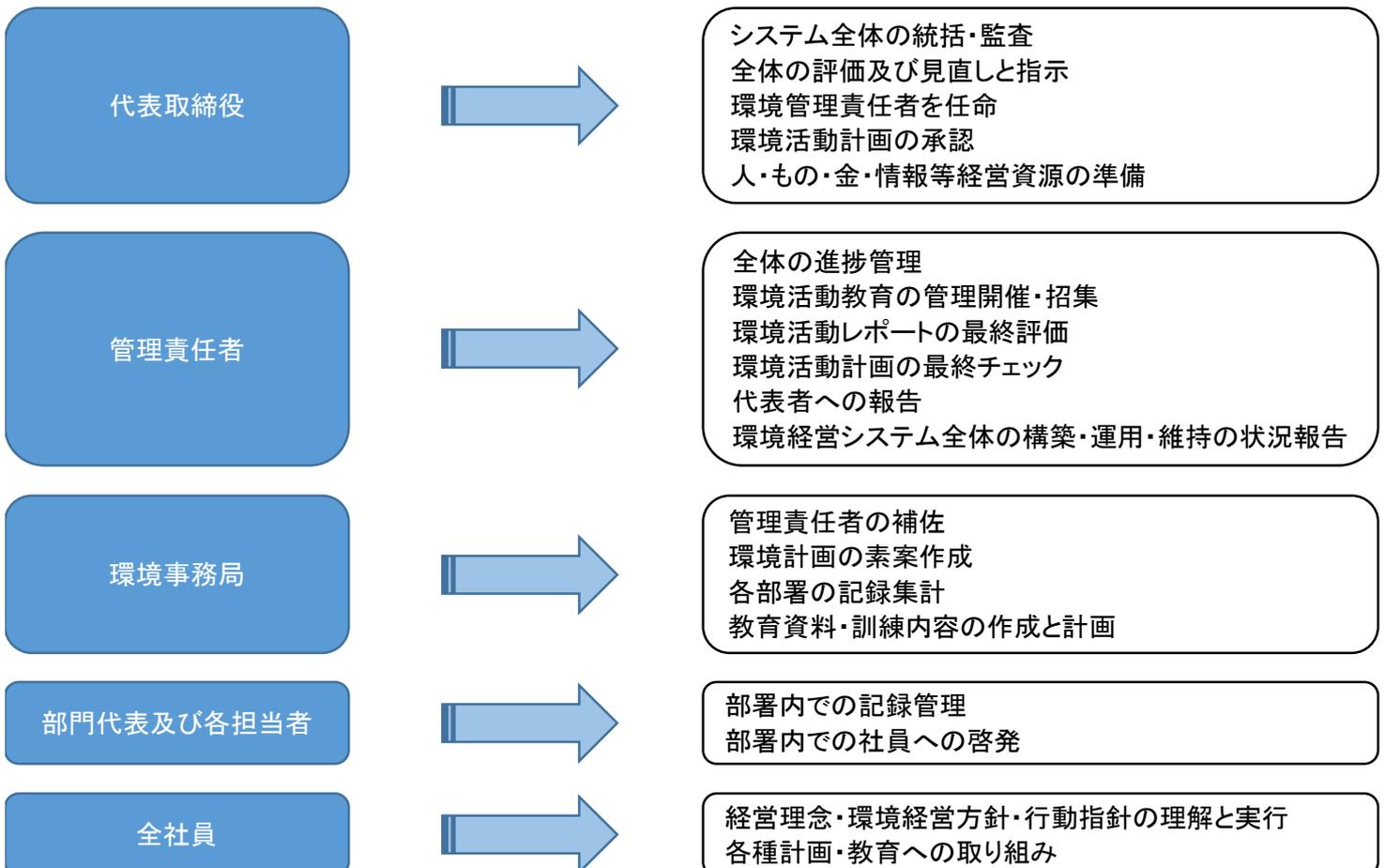


## エコアクション21 実施体制

株式会社田中商会では各部署にEA21担当者を定め、更に部署内で燃料・電気・水・廃棄物の削減担当者を選任し、全従業員が当事者意識を持てるように工夫し、全員参加型の実施体制を構築しております。



### 役割・責任・権限



## ◆ 対象範囲

### ○ 認証・登録範囲

- ・金属類、紙類の再資源化
- ・金属の加工及び販売
- ・廃棄物(一般・産業)の収集運搬及び中間処理

### ○ レポートの対象期間

- ・レポート対象期間 : 2024年7月～2025年6月
- ・レポート作成 : 大垣 史浩 小畑 勇
- ・レポート承認 : 田中 期

### ○ 対象組織

本社工場(倉敷市中島)

- 第一製鋼原料部(8500㎡)
  - ・金属屑の回収及び加工販売
  - ・産業廃棄物収集運搬及び中間処理
- 製紙原料部(6000㎡)
  - ・古紙の回収及び加工販売
  - ・機密書類のシュレッダー
- 工作所(3500㎡)
  - ・薄板のシャーリング加工及びスリット加工

JTRY水島

- 第二製鋼原料部(9210㎡)
  - ・厚板の選別及び切断

玉島工場

- 循環推進部(8260㎡)
  - ・破碎機による雑品の資源リサイクル



第一製鋼原料部



製紙原料部



工作所



JTRY水島



本社工場入口



玉島工場

## ◆ 環境経営理念

国益を重んじ社会貢献に努め取引先に愛され  
もって社員の未来を重視すると共に  
子孫より預託された環境を保持し  
且つ改善の一助たるべく社内において自己完結を目指し  
その実行に向け総ての努力を傾注する

## ◆ 環境経営方針

株式会社 田中商会は「**リサイクルで地球を護る**」をスローガンに再生資源の回収・加工から廃棄物の収集運搬・中間処理に至る業務を通じて社内自己完結を目指し3Rの普及・推進に努めてまいります。

そして、周辺環境に十分配慮しながら、国家・地域行政と共に循環型社会構築の活動に貢献することにより、経営理念に基づいた環境経営の継続的改善を推進していきます。

### 行動指針

- ・二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の削減に努めます。
- ・節水への取り組みとして適切な排水管理により、水管理の保全に努めます。
- ・受託産業廃棄物の再資源化率向上に努めます。
- ・廃棄物処理法、リサイクル法、消防法その他各種法律を遵守します。
- ・グリーン購入の推進に努めます。

2023年10月1日

⊕ 株式会社 田中商会

代表取締役 田中 剛



## 環境経営目標

各部署及び全体目標を前年の実績を基準値に設定し、以降の年度は削減及び増加目標共に基準値に対して毎年1%ずつの改善ができるよう取り組んでいきます。

項目	部署名	単位	2024年度	2025年度目標	2026年度目標	2027年度目標	
			基準年	対前年度比1%減	対前年度比1%減	対前年度比1%減	
化石燃料※1 (CO <sub>2</sub> 排出量)	製鋼原料部	(kg-CO <sub>2</sub> )	257608.98	255032.89	252482.56	249957.73	
	製紙原料部		196760.77	194793.16	192845.23	190916.78	
	JTRY水島		202448.21	200423.73	198419.49	196435.30	
	玉島工場		155328.46	153775.18	152237.43	150715.06	
①化石燃料CO <sub>2</sub> 排出量合計	—	(kg-CO <sub>2</sub> )	812146.42	804024.96	795984.71	788024.87	
電力使用量	製鋼原料部	(kwh)	252715.00	250187.85	247685.97	245209.11	
	製紙原料部		201366.00	199352.34	197358.82	195385.23	
	工作所		162423.00	160798.77	159190.78	157598.87	
	JTRY水島		46270.00	45807.30	45349.23	44895.74	
	玉島工場		241169.00	238757.31	236369.74	234006.04	
	事務所		27775.00	27497.25	27222.28	26950.06	
	全体		931718.00	922400.82	913176.81	904045.04	
②電力CO <sub>2</sub> 排出量合計※2	—	(kg-CO <sub>2</sub> )	564621.11	558974.90	553385.15	547851.30	
CO <sub>2</sub> 排出量全体合計①+②	—	(kg-CO <sub>2</sub> )	1376767.53	1362999.86	1349369.86	1335876.17	
水使用量	本社	(m <sup>3</sup> )	546.00	540.54	535.13	529.78	
	3部署		1040.00	1029.60	1019.30	1009.11	
	JTRY水島		512.00	506.88	501.81	496.79	
	玉島工場		441.00	436.59	432.22	427.90	
水使用量合計	—	(m <sup>3</sup> )	2539.00	2513.61	2488.46	2463.58	
自社発生産業廃棄物	全体	(kg)	610646.00	604539.54	598494.14	592509.20	
自社発生一般廃棄物			80780.00	79972.20	79172.48	78380.76	
増加目標	グリーン購入※3	全体	(%)	71.20	71.91	72.63	73.36
	廃棄物再資源化率(自社分)※4			85.12	85.97	86.83	87.70
	廃棄物再資源化率(受託分)※5			94.27	95.21	96.16	97.12

※1ガソリン・灯油の使用量が少なく個別での削減目標を設定する事は難しいので軽油と併せて化石燃料として表記

LPGは主に溶断に使用されており、数値目標の設定は非常に困難である。

従って、適切な管理を目的として、使用量把握を目標としている。

※2電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）

-R5年度実績- R7.3.18環境省・経済産業省公表

エネルギー・ソリューション・アンド・サービス 0.606 Kg-CO<sub>2</sub>/kWh

※3グリーン購入＝全購入金額に対するグリーン購入対応品の割合（%）

※4再資源化率（自社分）（%）＝再資源化量（自社分）／産業廃棄物総排出量（自社分）

※5再資源化率（受託分）（%）＝再資源化量（受託分）／産業廃棄物中間処理量（受託分）

※6化学物質使用量削減は、SDSで確認、購入/使用実績が無いことから、購入/使用実績を把握することを目標としている。

※各部署に分けることが出来ない項目は全体での表記とする

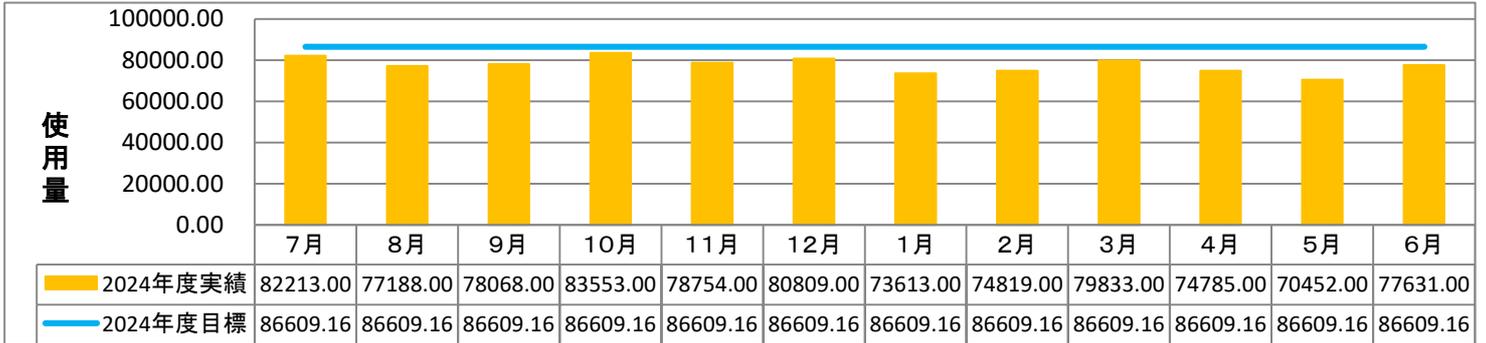
◆ 環境経営計画

以下の通り目標を達成する手段とし項目を設け、環境事務局を責任者として適応部署の長を担当者とし、各部署の実施体制を基に全従業員が1年間、計画に取り組んでいきます。

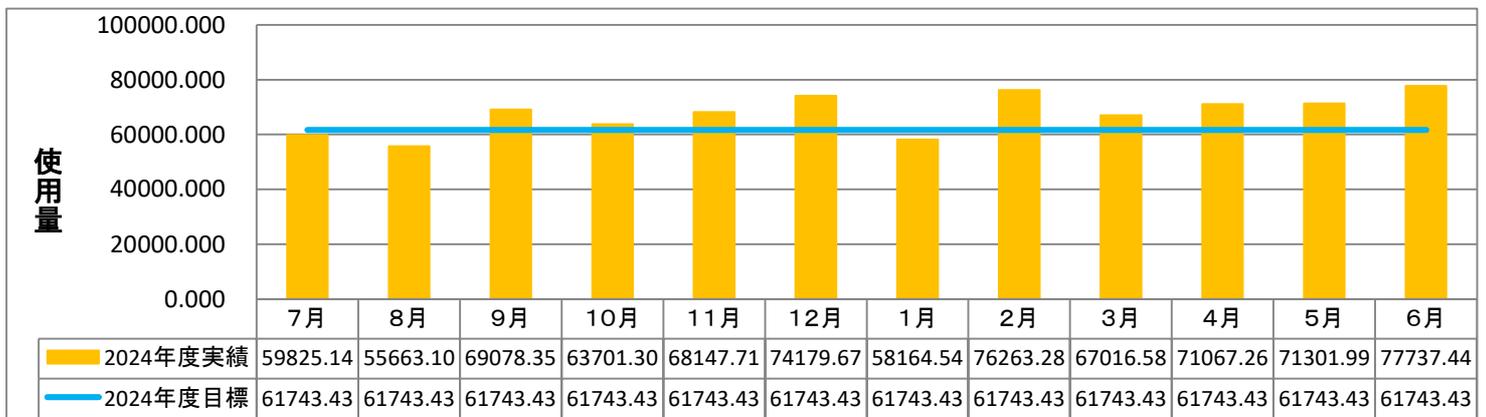
		適応部署	項目	目標達成手段	
削減目標	化石燃料	製鋼原料 製紙原料 JTRY水島 玉島工場	軽油	トラック	車間距離にゆとりをもつ
					不要なアイドリングを控える
				出発前点検	
			重機 リフト	不使用時のエンジン停止	
		使用前点検			
		全部署	ガソリン	エコドライブの実施	
			灯油	適正な燃焼	
			液化石油ガス(LPG)	適正な燃焼	
	恒久的		低燃費車への更新		
		各種定期点検			
	電力	全部署	事務所	エアコンの温度管理	
			工場	各設備不使用時の電源OFF	
		各設備の稼働率向上			
	LED照明への切り替え				
水使用量	全部署	事務所	定期的な教育による節水の周知徹底		
			啓発ポスター等による節水の意識向上		
	工場	地下水及び雨水の使用			
		洗車時・手洗時のこまめな節水			
自社発生廃棄物 (産業・一般)	全部署		適正な分別を行いリサイクルの徹底		
			適正な分別による有価物への転換		
増加目標	環境配慮	全部署	事務所	グリーン対象商品購入の推進	
	廃棄物再資源化率 (自社分・受託分)	全部署		廃棄物再資源化率(自社分)の向上	
				廃棄物再資源化率(受託分)の向上	

## ◆ 月間目標と実績の比較

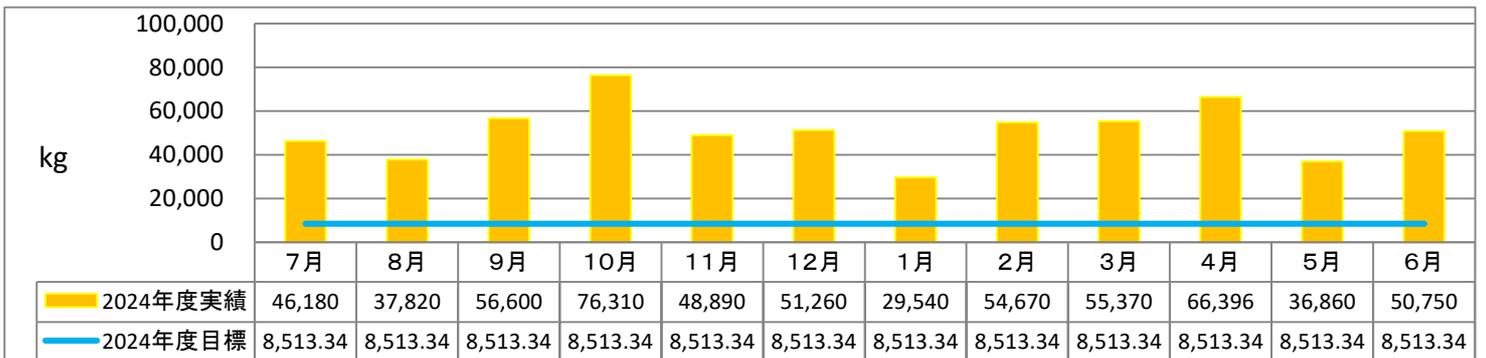
### 電力使用量 ※単位=kwh



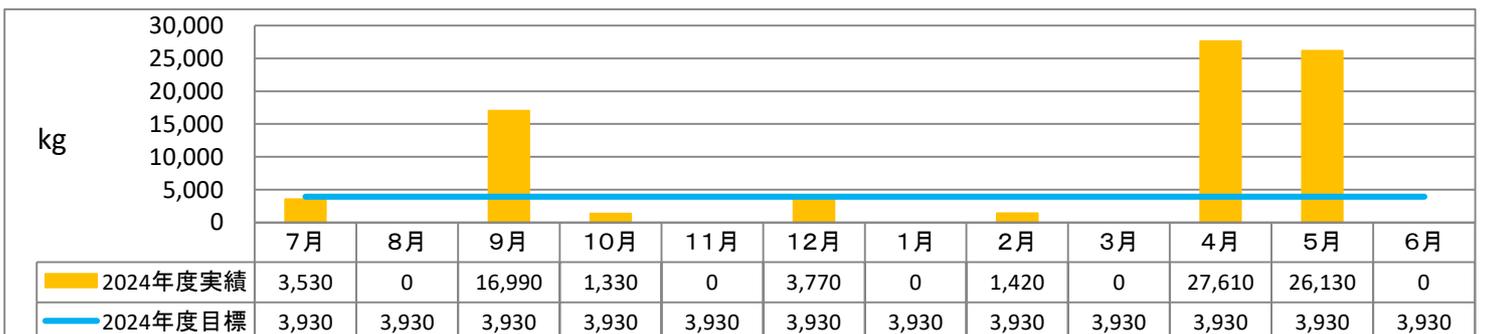
### 化石燃料使用量 ※単位=kg-CO<sub>2</sub>/t



### 産業廃棄物 ※自社排出分(kg)



### 一般廃棄物 ※倉敷環境センター(kg)





## 環境経営目標及び環境経営計画の達成状況

環境経営目標		2023年度	2024年度		全体及び各部署の環境経営目標達成状況						
		実績	目標	実績	全体	製鋼原料	製紙原料	工作所	水島工場	玉島工場	事務所
削減目標	CO <sub>2</sub> 排出量合計 (kg-CO <sub>2</sub> )	1256754.00	1244186.46	1229556.08	△						
	化石燃料 (kg-CO <sub>2</sub> )	748405.24	740921.19	812146.42	△	△	△	—	×	△	—
	電力使用量(kwh)	1049808.00	1039309.92	931718.00	○	○	○	△	△	○	×
	電力CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )注1	508348.76	503265.27	417409.66	○						
	水使用量(m <sup>3</sup> )	2570.00	2544.30	2539.00	○	○	○		×	×	○
	自社発生産業廃棄物 (kg)	103192.00	102160.08	610646.00	×	×	—		×		—
	自社発生一般廃棄物 (kg)	47640.00	47163.60	80780.00	×						
増加目標	環境配慮 グリーン購入(%)	68.53	69.22	71.20	○						
	自社分 廃棄物再資源化率(%)	81.81	82.63	85.12	○	×	—		○		—
	受託分 廃棄物再資源化率(%)	91.61	92.53	94.27	○	○	—		○		—

※分けることが出来ない項目は全体での表記とする

※数値目標評価基準 ○100%以上 △99.99%~90% ×89.99%以下 -該当なし

注1電気事業者別排出係数R4年度実績/㈱エネルギー・ソリューション・アン・サービス 0.448kg-kw-CO<sub>2</sub>/kwhを使用

### 【各部門のエネルギー及び水使用目標達成率詳細(%)】 ※下記パーセンテージ=各月の実数値/目標値

		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	年間
電力	製鋼原料部	98.8	109.5	111.3	95.2	94.2	98.4	105.0	101.4	104.7	102.8	116.3	107.6	103.4
	製紙原料部	98.9	103.8	100.4	95.2	101.9	104.7	121.8	135.8	107.5	106.5	102.2	107.9	106.3
	工作所	83.2	86.3	82.9	100.8	122.3	107.7	94.8	103.7	106.3	108.5	115.0	88.5	98.5
	JTRY水島	92.8	89.3	83.7	89.9	89.2	76.4	75.5	86.5	89.3	107.3	120.4	108.5	90.8
	玉島工場	136.9	160.9	157.8	122.5	127.8	123.7	169.9	140.5	121.6	145.0	151.2	139.2	139.8
	事務所	113.4	63.3	77.3	108.8	155.3	105.7	69.3	62.4	72.4	107.3	170.2	86.4	89.8
化石燃料	製鋼原料部	88.3	116.7	92.2	97.2	92.6	84.3	116.5	95.1	109.0	94.0	106.9	96.6	98.1
	製紙原料部	96.5	101.1	93.8	96.4	97.7	89.0	106.1	89.2	110.7	96.3	95.7	96.9	97.1
	JTRY水島	133.9	94.5	77.7	90.2	84.4	76.3	78.8	54.1	64.8	67.1	61.2	49.7	72.8
	玉島工場	121.1	140.6	92.7	104.7	85.8	82.1	131.4	91.9	86.9	90.3	83.8	84.4	96.5
水	本社	90.6	90.6	105.0	105.0	102.7	102.7	91.5	91.5	111.3	111.3	112.7	112.7	101.5
	3工場	93.8	93.8	110.8	110.8	150.5	150.5	128.4	128.4	132.7	132.7	100.8	100.8	116.3
	JTRY水島	82.1	82.1	85.4	85.4	74.4	74.4	74.4	74.4	66.0	66.0	71.1	71.1	75.0
	玉島工場	178.4	178.4	122.2	122.2	75.0	75.0	95.7	95.7	78.6	78.6	60.6	60.6	89.8



## 各部門長による評価及び次年度の取組

### <製鋼原料部>

電力は2月から本格的にスタートした太陽光パネルの発電効果が出てきており、2月以降電力代を20%から30%削減できている。化石燃料は目標値に近づいているが一部不要なアイドルリングをしているケースがあり徹底させたい。水に関しては本年度は目標値に達しており引き続き節水に心がけたい。次年度も引き続き目標を達成する努力を続け、古い車両を順次更新する手配をする。

製鋼原料部 工場長

松浦 洋己

### <製紙原料部>

ペーラー機の古い方が故障が続き今年に入って停止する日が多くあった。そのため電気使用量は下がったが同時に生産量が落ち込んでしまった。しかしその機械も7月より新しく省エネタイプにリプレースしたため今期はその効果が得られるものと期待している。車両の燃料については、回収ルート効率化を進めておりますますの結果となった。あとは、積み込み時のエンジンストップや重機の空ぶかしなどたまに見られるため、徹底していきたい。

昨年からスタートしたリサイクルステーション「くらシエコ」も軌道にのりつつあり、扱い量の増加を期待している。

製紙原料部 部長

田中 期

### <工作所>

工作所ではEA21担当者(部門内)による声掛けや目標の見える化(言語化)により、節電・節水に対する意識改革及び機械の保守点検などの教育により作業者の意識向上が見受けられることが出来ます。電力使用量については夏場以外の節電への取組を感じる事が出来るが夏場に関しては昨今の猛暑により熱中症対策を強化したことが結果として電力使用量の達成率を低下させたが労働環境の保持には必要と考える。水使用量の達成率については継続的な意識改革により安定的に達成できている。保守点検により設備の突発的な故障なども無く安定的生産が出来、電力使用量削減にも寄与できていると思う。

今後も気を緩めることなく今まで以上にこまめな節電・節水などに気を配りながらも安全に作業を行える環境を構築し、目標が達成できるよう努めます。

工作所 所長

大垣 史浩

### <JTRY水島>

24年度はJTRY水島内の作業員の増員、ガス切断事業も本格的に稼働、端板加工事業も8月から受入増、出荷ベースも3,000t/月レベルでのスタートから第3期2月以降は5,000tUPの出荷量まで増加、加えてガス切断分も堅調に出荷しました。以上に伴い、重機の導入もあり化石燃料の使用量は増えました。水道量も年間通じて使用量は増加傾向で推移、主にガス切断物の冷却用、砂塵防止に散水増加した要因と考えられます。電力は第1～3四半期は凡そ4,000KWH/月前後でしたが、第4四半期は3,000KWH/月に減少しました。要因は各社員の節電意識が向上したものと考えられます。25年度は出荷数量(加工数量)は維持・拡大する見込みですので現状の使用量前後は生じると思われる為、各社員の節電、節水等の節約意識をさらに高めること、又適切な目標値を設定することで、その数値を遵守するべく業務を遂行していく所存でございます。

JTRY水島 工場長

澤井 淳

### <玉島工場>

電力については、2024年6月より、新たに太陽光システム設備の稼働開始に伴い目標値を大きく上回る達成率となった。今後、目標値を再設定するとともに設備を上手く活用することで電力を有効に活用できるよう取り組んでいく。化石燃料については、加工促進のため人員を雇用し、重機を増やしたことにより使用量が増加した。重機を使用する社員への指導を行い熟練度をあげて効率よく生産することで目標達成率改善へ取り組んで行く。水の使用については、破碎工程から発生する粉上のダストが舞わないよう散水を開始した。社員の労働環境保全のため散水は必須事項であり、2024年10月より散水システムの導入。今後は目標値の再設定を行い、システムを上手く活用することで目標達成率改善に取り組んで行く。

玉島工場 工場長

小畑 勇

### <廃棄物>

昨年に引き続き破碎前段階の、重機と人による選別、加工を行い廃棄物の再資源化、少量化に努めてきた。環境問題がクローズアップされる昨今において、処分場側の受け入れ基準も厳しくなっており、玉島工場においてもより細かな選別、加工が行えるよう社員教育を行い現場での選別精度を高め処分場側のニーズに応えられるように努めて行きたい。

循環推進部 次長

西 憲昭

# ◆ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました  
尚、関係機関及び工場近隣からの違反の指摘、訴訟及び苦情もありませんでした。

法令等の最新化の確認は、順守評価前に実施し、次年度の取りまとめに反映する。

	法令等の名称	該当する 条項等	適用される要求事項	最新 施行日	遵守評価結果	
					記録類及び確認	結果
基本・一般	○環境基本法	第8条	・事業者の責務 (ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要な処置を講ずる。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める)	R3.9.1	各部署ヒアリング EA21への取組	○
	○振動規制法	第5条 第6条	・特定工場等に係る規制基準を遵守 ・特定施設設置の届出	R7.6.1	届け出の確認	○
	○騒音規制法	第5条 第6条	・特定工場等に係る規制基準を遵守 ・特定施設設置の届出	R7.6.1	届け出の確認	○
大気	●フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第6条 第16条 第19条 第27条 第47条	・特定製品(業務用エアコン、冷蔵庫等)の整備・廃棄時のフロン回収・破壊 ・フロン類使用の定期点検・記録・同保存・廃棄後3年間保管等 ・引取証明書による回収・破壊の工程の確認 ・第一種フロン類充填回収業者の登録 ・充填量及び回収量と引き渡し量の記録と報告	R7.6.1	領収書 報告書 自主点検記録 1/3ヵ月 引取り証明書の内容確認 許可証(事業許可証一覧) 充填量及び回収量の報告 (様式第3)	○
	●水質汚濁防止法	第2条	・水質基準の遵守	R7.6.1	油水分離槽の点検結果など	○
	●下水道法	第10条	・下水道への放流	R7.6.1	排水設備の設置	○
	●浄化槽法	第5条 第8～10条 第11条	・設置または変更時の届出 ・保守点検 ・定期検査	R7.6.1	浄化槽設置届け出 定期検査記録 検査記録	○
	●悪臭防止法	第7条 第10条	・規制基準の遵守義務 ・事故時の措置と報告	R7.6.1	事故が起きた時の書類	○
廃棄物・リサイクル	○循環型社会形成推進基本法	第11条	・廃棄物等となることの抑制に努める	H24.9.19	廃棄物の分別・行政へ協力	○
	●廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	第6条 第7条 第12条 第13条 第14条 第20の2 施行例8条	・産業廃棄物収集運搬車へのマニフェスト ・許可証等の書面備え付け ・一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要 ・廃棄物の保管管理 ・マニフェストの保存管理 ・帳簿の管理 ・産業廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要 ・許可業者に委託(一廃は許可証の確認) ・許可業者に委託(産廃は契約) ・マニフェスト発行・返送遅延時の届出 ・マニフェスト交付状況の報告 ・岡山県廃棄物再生事業者登録 ・専ら再生利用を目的の収集・運搬業者に委託	R7.6.1	マニフェスト伝票の携帯 産業廃棄物運搬の表示 許可証 表示板の設置 伝票確認 帳簿確認 許可証 業者許可証の確認 委託契約書 マニフェストの確認 マニフェストの確認 許可証 委託契約書	○
	●プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	第4条	・事業者は、プラスチック使用製品廃棄物及びプラスチック副産物を分別して排出するとともに、その再資源化等を行うよう努めなければならない	R7.6.1	マニフェストの確認	○
	○ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(PCB処理法)	第2条上	・ポリ塩化ビフェニル廃棄物	R7.6.1	成分分析表 マニフェストの確認	○
	●資源の有効な利用の促進に関する法律 (リサイクル法)	第4条	・指定再資源化製品のリサイクル	R7.6.14	計量票	○
	○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器リサイクル法)	第4条	・事業者の責務(分別排出の協力)	R7.6.14	計量票	○
	●特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	第6条	・TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄	R7.6.1	業者報告書等	○
	○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	第5条	・環境物品等を選択するよう努める	R7.4.1	環境対応物品の選択	○
	●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)		・解体時のリサイクル化	R7.6.1	発注者への報告	○
	●使用済自動車の再資源化等に関する法律	第5条	・自動車の所有者の責務 ・自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	R7.6.1	計量票	○
その他	●消防法	第21条の4 第31条の4	・火災報知機の設置(工場500㎡以上) ・屋内消火栓の設置(工場700㎡以上) ・消防用設備等の点検と報告	R7.6.1	各事務所に設置 場内地図参照 点検表及び報告書	○
	●水銀による環境の汚染の防止に関する法律 (水銀汚染防止法)		・産業廃棄物処理及び保管基準の遵守 ・委託基準の遵守	R7.6.1	委託契約書	○

●遵守義務 ○遵守努力義務



## 環境活動及びその他の活動への取り組み

### 地域清掃活動への参加(年2回)

・地域清掃に合わせ溝掃除と社内一斉清掃を行いました。



### 近隣小学校の四年生を招いてのリサイクル社会科見学

・毎年小学生を招いての課外授業(環境問題やリサイクルについて)を行っています。



### 訓練及び教育

・消防訓練風景

※他3回(KY教育等)



## ◆ 代表者による全体の評価及び見直しと指示

### 見直し・指示に必要な情報

#### 環境管理責任者の報告及び改善への提案

[取り組状況の評価結果]

○環境目標の達成状況及び問題点の是正及び予防(EAB-10・12・13・15・16参照)

水使用 : 通常使用面での節水はできているが、設備上水使用が仕方ない工場もあるため仕方の無い結果が  
 廃棄物 受託 : 適切な選別や加工ができていて再資源化率は高水準で推移できた

自社 : 分別の徹底ができており、目標を上回る事ができた。今期は一般廃棄物の処理について見直しを行う予定

電力 : 全体的に生産量の低下から達成率が悪かったことが考えられる。生産の効率をあげることと、扱い量を増やしていきたい

化石燃料 : 重機の稼働は抑えられないので、アイドリングストップや無駄な動きがないようにしていきたい

総評 : 全体的には目標に近い所で維持できたと思う。ひとりひとりの意識が行動に現れた結果だと思う。引き続き効率を上げて作業を行い、また扱い量についても増やしていくことを目指していく

#### ○環境関連法規等の遵守状況

当社が遵守及び努力義務のある法令に関して評価の結果、違反等無し。  
 今後も継続して環境関連法規を遵守を徹底していく。

#### ○外部からの環境に関する苦情や要望等

環境関連に関する近隣住民からの苦情・要望等無し。  
 今後も継続して活動を実施。

## 代表者による全体の評価及び見直しと指示

項目	見直しの 変更の有無	評価及び指示内容
環境経営方針	無し	現状変更なし
環境経営目標	無し	現状変更なし
環境経営計画	無し	現状変更なし
実施体制	無し	現状変更なし

### 全体評価

環境負荷低減に関して数値管理は必須項目であるのに加え、管理を行っている事自体が事業活動の質を高めていると感じる。しかし前年度より軽微な物損等の事故が頻発しており、修繕等のコスト負担及び安全面での危機意識が不足していると思う場面が増加した。原因の一つとしては3S・5Sの不足から生じてきているものであり、無駄な作業を行っている、つまり環境負荷の増加要因になっているものと推測する。環境負荷の少ない効率的な作業の実施と収益向上の両立に向けて、より一層の職場環境の整備及び、意識づけを継続的に行う事とする。

The earth is defended by recycling.  
It challenges the recycling of limited natural resources.

Re-Cycle is Re-Fresh

## リサイクルで地球を護る



株式会社 田中商会

<https://www.tanaka-rc.co.jp/>

本社工場・製鋼原料部

〒710-0803 岡山県倉敷市中島1395  
TEL (086) 465-3050 FAX (086) 465-3051

製紙原料部

〒710-0803 岡山県倉敷市中島1550  
TEL (086) 466-1066 FAX (086) 465-3601

工作所

〒710-0803 岡山県倉敷市中島1543  
TEL (086) 465-7866 FAX (086) 466-0441

JTRY水島

〒712-8073 岡山県倉敷市水島西通1-1950-4  
TEL (086) 446-4036 FAX (086) 445-1561

玉島工場

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8264-11  
TEL (086) 486-1850 FAX (086) 486-1851